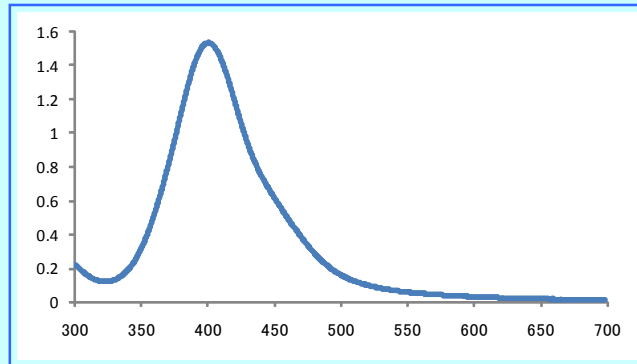
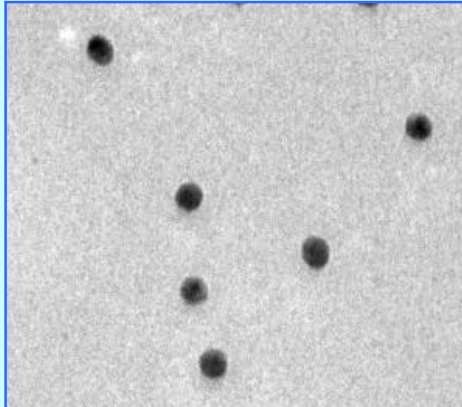


開発品 イムノクロマト用標識材料

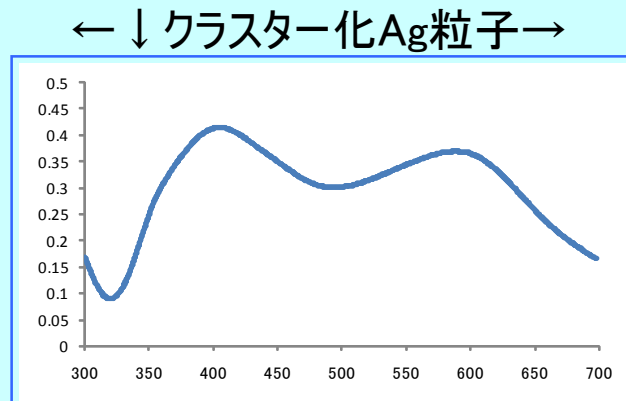
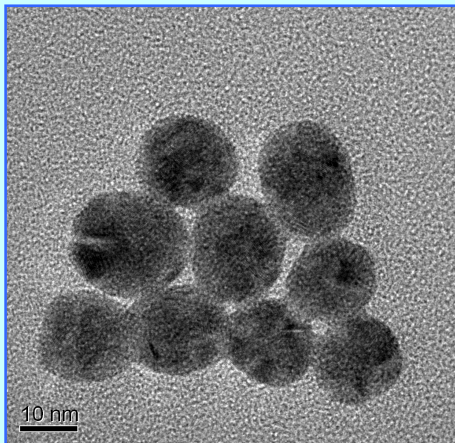
特徴

Ag粒子を近接させ、クラスター状にすることで目視による感度増大

TEM画像、吸収スペクトル、分散液の色



← ↑ 前駆体Ag粒子(直径15nm) →



← ↓ クラスター化Ag粒子 →

Au粒子(直径50nm)、Ag粒子(直径50nm)との比較



← 左から金粒子、銀粒子、
クラスター化銀粒子

クラスター化することで既存の
標識粒子以上の性能が期待
される

特許出願中

※ この成果は、(独)産業技術総合研究所東北センターのコンパクト化学プロセス研究センターとの共同研究により達成されたものです。